

## 照りつける日差しの中元気に開催

### 第7回大津がんばるマルシェ開催

「大津がんばるマルシェ！」が7月16日にオクス広場駐車場で開催されました。これは、肥後おおづ観光協会が隔月で行っているイベントです。出店も町内外から集まり、参加店舗数は過去最多の24店舗。生産者が直接販売する新鮮野菜や、からあげ専門店などさまざまな出店があり、来場者は恒例のスタンプラリーの台紙を片手に各店舗を回って買い物を楽しんでいました。次回は9月に開催予定です。



来場者はオクス広場の木陰で休みながらイベントを満喫していました

## 台湾高雄市の中学生がやってきた！

### 高雄市立前鎮國民中と大津北中の交流会

台湾の高雄市立前鎮國民中学のサッカー部と梁華業校長、コーチ、保護者を合わせた21人が交流と合宿のために7月18日～25日の8日間、熊本県を訪れました。

日程の中で19日に大津北中との交流会が行われ、互いの学校紹介や特技を披露し親睦を深めました。会の前には生徒らは一緒に給食をとり、片言の英語や身振り手振りを交えて、互いの文化についての話をするなど、両校にとって普段できない国際交流の場になりました。



前鎮中のダンスの披露や大津北中の空手演舞が会場を沸かせていました

## 不動産業界の発展に寄与

### 平成29年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰

国土交通省の行う「平成29年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰」の表彰式が7月10日に東京都で行われ、(公社)全日本不動産協会副理事長(株)あゆみ不動産の松永幸久さん(杉水)が受賞しました。この賞は建設事業関係功労者と優良団体に対して贈られるもので、松永さんは「熊本地震のときも消費者保護を第一に考え行動してきた。これからも第一優先は変わらない。町の発展のためにもこれから頑張りたい」と話していました。



受賞報告で町長の元に訪れた松永副理事長

## 高校生が町の歴史に触れる

### 翔陽高校生による町文化財復興ボランティア

県立翔陽高校に通い建築を学ぶ2年生の生徒25人が、7月11日と12日に熊本地震以後、手付かずだった町文化財学習センターの片付けを行いました。これは、県の「くまもと未来への復興人材育成事業」で、復興を通して地域に貢献する若者を育成することを目的としています。同センター内には町の民芸品や町の遺跡で発掘された土器などが多数保管されており、生徒らは歴史や文化を肌で感じながら作業をしていました。



町文化財学習センターの荷物を整理する生徒ら

## 町に元気と勇気をありがとう

### 第88回都市対抗野球大会 Honda熊本出場



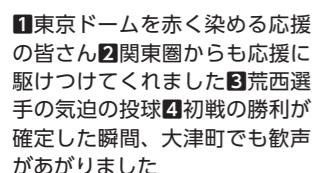
1



2



3



4

1東京ドームを赤く染める応援の皆さん2関東圏からも応援に駆けつけてくれました3荒西選手の気迫の投球4初戦の勝利が確定した瞬間、大津町でも歓声があがりました

第88回都市対抗野球大会が7月14日から12日間、東京ドームで行われ、町代表として「Honda熊本」が出場しました。町民応援団の派遣は行いませんでしたが、初戦、二回戦ともに大津町からパブリックビューイングで応援しました。

16日に行われた初戦の対戦相手は宮城県石巻市代表「日本製紙石巻」。先発投手の荒西祐大選手が見事完封し、4対0で勝利し2回戦に進出しました。21日に迎えた2回戦の対戦相手は神奈川県川崎市代表「東芝」。4回まで0対0と緊迫した投手戦が続きましたが、5回表に先制され苦しい展開に。9回裏に1点を返し、粘りを見せましたが1対4で惜しくも敗れました。

今年の大会も全出場チーム中、唯一の「町」代表として、東京のみならず全国へ「大津町」をPRすることができました。また、郷土のチームを応援しようと関東各地からもたくさんの方が応援に駆けつけてくれました。

応援してくださった皆さん、また、大津町に元気と勇気を届けてくれた「Honda熊本」の皆さん、ありがとうございました！来年、更なる活躍を期待しています。

## 今年で20年目

### 大津支援学校が昭和園に植栽

県立大津支援学校の生徒たちが7月12日、昭和園に植栽を行いました。これは授業の一環で行われており、園芸班をはじめ約20人が育てた花を地域の人たちにも楽しんでもらおうと植えているものです。

この20年間続く植栽は地域の人からも好評で、毎年この時期を待っている人もいるほどです。高等部に通う桐原 龍 司さんは、「近くに住んでいる人に自分たちが作った花を見て楽しんでほしい」と笑顔で話しました。



今年用意された花は560株で、花壇のほかにも室仮設団地、南出口仮設団地にも贈られました

## 場所を移し新たな気持ちで

### フジデノロ(株)の新工場が完成

フジデノロ(株)熊本工場(杉水)の新熊本工場が完成し、竣工式が7月14日に行われました。

同社は、平成27年に大津町の南部工業団地に進出し、プラスチック製品の加工などを行っていましたが、地震により被災し、場所を移して工場を新築しました。

竣工式で、渡邊樹志社長は「メーカーからの要望に応え、競争力強化を図りたい」とあいさつしました。



テープカットを行う渡邊社長(右から4番目)と出席者の皆さん